

## 積算

(手動で作成)

## 手動で工事を作成する

仕様書が画像データ等で取込が出来ない場合の手動で工事を作成する方法をご説明します。

### 1. Gaia9システムを起動する

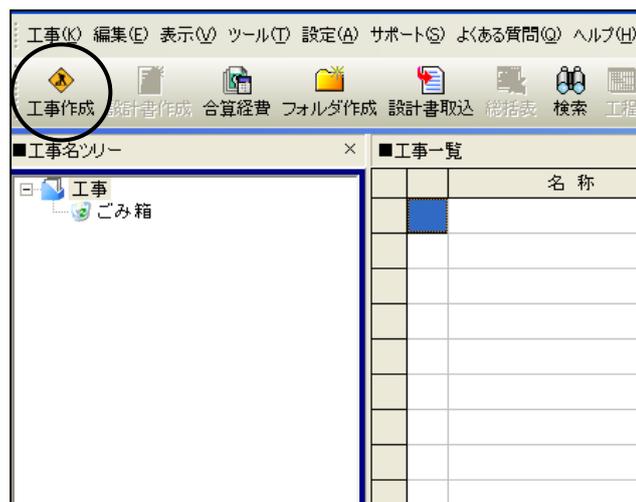
WindowsのデスクトップにあるGaia9のアイコンをダブルクリックします。

### 2. 「工事」を作成する

「工事名表」画面にて、ツールバーのをクリックします。



をクリックすると、工事フォルダを作成できます。



### 3. 工事名を入力する

「工事作成」画面が表示されます。

画面左側のステップに従って工事を作成します。

まずは「工事名」を入力します。

入力が終わりましたら、[次へ]をクリックします。



## 4. 発注者・年度・地区を選択する

【発注者】・【歩掛区分】

【単価適用日】・【単価地区】を

選択し、「次へ」をクリックします。

単価地区が**未設定**になっている場合は、

(未設定)

をクリックして、  
使用する地区を選択します。  
終わりましたら、[次へ]を  
クリックします。

## 5. 工事情報を入力する

必要に応じて工事情報を入力します。

入力が終わりましたら、[次へ]を  
クリックします。

## 6. 各種補正を入力する

各種補正を入力します。  
必要に応じて補正率などを入力します。

入力が終わりましたら、[次へ]を  
クリックします。

## 7. 内容を確認する

ここまでに入力した内容が表示されます。

表示された内容を確認し、よろしければ「工事作成」をクリックします。

内容を修正したい場合は、「戻る」をクリックします。

工事作成

作成する工事の内容を確認し、よろしければ「工事作成」ボタンをクリックして下さい。

工事名	道路工事	単価適用日	2015年2月6日
発注者	千葉県土質補正		
単価年度	(1:地域単価) 11千葉県 - 平成22年1月 (2:市販単価) 12千葉県 - 平成22年1月 (3:市販単価) 12千葉県(市場単価) - 平成22年秋(10月) (4:地域単価) 施工のカウンタ単価地区単価 - 東京都平成22年4月 (5:参考単価) 千葉参考単価 - 平成22年度4月	千葉 千葉 (二社平均 WE6建設有:積算 千葉 (二社平均 WE6建設有:積算 【千葉】東京(125.4)平均二社最大 12千葉県	
歩掛区分/年度	12千葉県 - 平成22年度		
経費区分/年度	一般土木(国交省) - 平成22年度		
資料年度/地区	平成22年度 - 千葉県(国土交通省)		
施工場所		施工日数	日間
施工期間	---/---/---		
路線・河川名			
工事番号		予定価格	円
工事内容			
備考			

< 戻る(B)    工事作成(C)    キャンセル

## 積算

### 集計行を作成する

「本工事費内訳書」画面に本工事費、工事費等の名称を記入し、集計の対象となる範囲を自動集計する費目行・工種行・種別行を作成します。

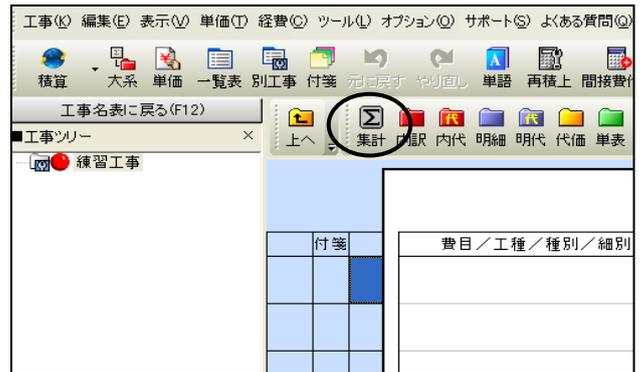
#### 練習

##### 1. 「集計行」を作成する

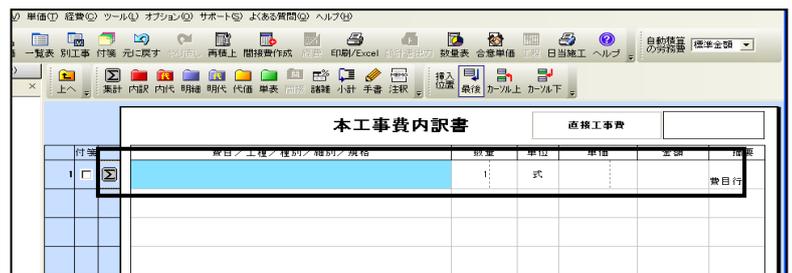
「本工事費内訳書」画面が表示されましたら、ツールバーの



を



「本工事費内訳書」に「費目行」が作成されます。



##### 2. 「費目行」に直接名称を入力する

作成した費目行の「名称」欄をクリックし、「本工事費」と入力して下さい。

[Enter] キーを押して確定します。



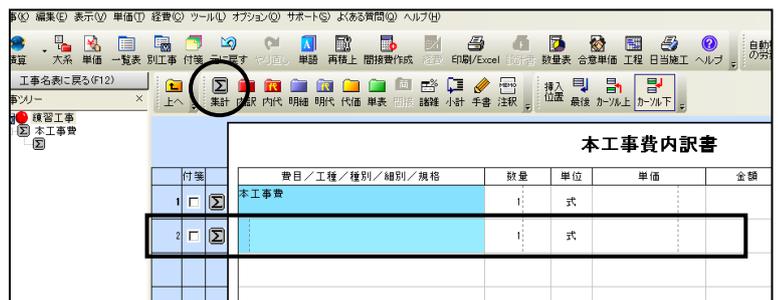
##### 3. 「工種行」を作成する

ツールバーの



をクリックします。

「工種行」が作成されます。



#### 4. 「工種行」に直接名称を入力する

作成した工種行の「名称」欄をダブルクリックし、「土工」と入力してください。

[Enter] キーを押して確定します。

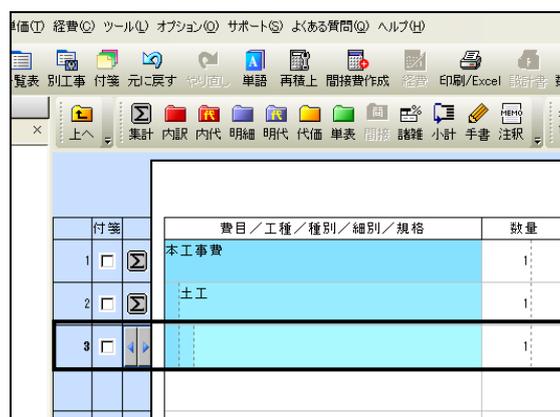
2行目に「土工」の行が表示されます。



#### 5. 「種別行」を作成する

ツールバーの  をクリックします。

「本工事費内訳書」に「種別行」が作成されます。



#### 6. 「種別行」に直接名称を入力する

作成した費目行の「名称」欄をダブルクリックし、「掘削工」と入力して下さい。

[Enter] キーを押して確定します。

3行目に「掘削工」の行が表示されます。



 をダブルクリックすると、 になります。

費目行→工種行→種別行の順番で集計行が作成されます。

 をクリックすると、一つ上の階層に変更できます。

 をクリックすると、下階層の行を作成することができます。

<b>積算</b>	<b>「土工」第1号明細代価表を作成する</b>
	<p>設計書様式の単位である明細書、代価表、労務費、材料費、機械損料等といった各種の要素を積上げ集計する表の作成を行います。</p> <p>ここでは練習工事に「土工事」という明細代価表を作成します。</p>

**練習**

**1. 「明細代価表」を作成する**

「本工事費内訳書」が表示されていることを確認し、ツールバーの  をクリックします。

画面に「明細代価表」が一行追加されます。  
 名称欄のカーソルが点滅し、文字入力ができる状態になります。

「土工」と入力し [Enter] キーを押して確定します。



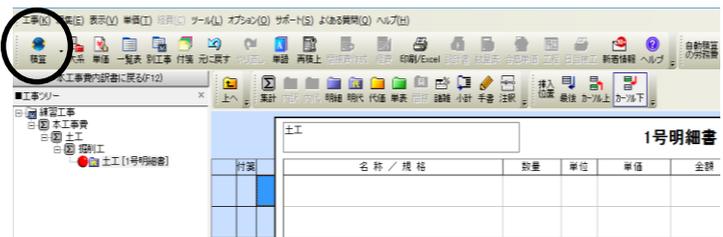
本工事費内訳書						
付箋	費目/工種/種別/細別/規格	単位	数量	単価		
1	本工事費	式	1			
2	土工	式	1			
3	掘削工	式	1			
4	土工	m3	157			

4行目の  をダブルクリックします。

「第1号明細書」画面が開きます。

**2. 「積算」をクリックする**

「第1号明細書」画面にて、ツールバーの  をクリックします。

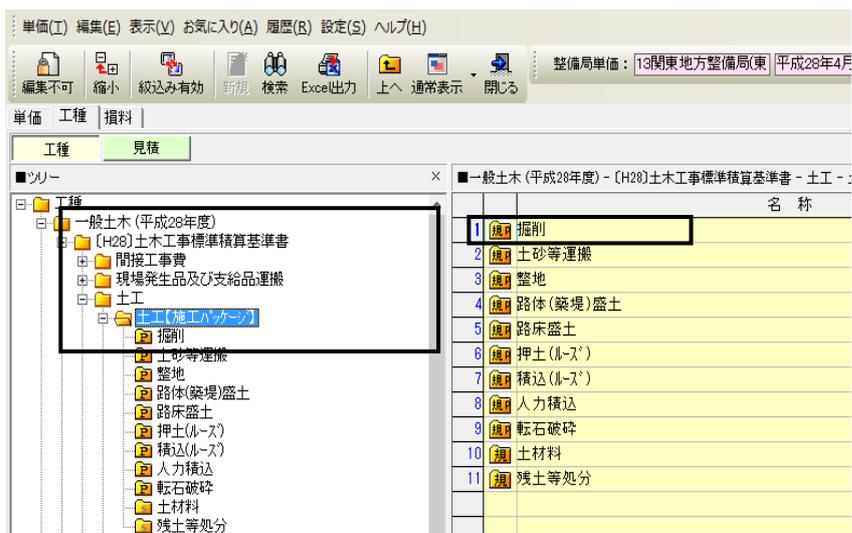


「工種」画面が表示されます。

## 2. 工種を選択する

「掘削」を自動積算します。

画面左側のツリーより  
一般土木  
－土木工事標準積算書  
－土工  
－土工【施工パッケージ】  
－掘削  
をダブルクリックします。



## 3. 「掘削」の自動積算を実行する

「工種」画面右側の「名称」欄にて  
「新規」をダブルクリックします。

自動積算が開始されます。



## 4. 積算条件を選択する

・積算条件の選択を行い[確定]をクリック  
します。



## 5. 代価表を作成する

画面上側に「選択内容」が表示されます。

この条件を用いて代価表を作成します。

選択内容を確認し、選択した条件が正しければ、「質問内容」最下行の「確定」または、画面上部の



をクリックします。

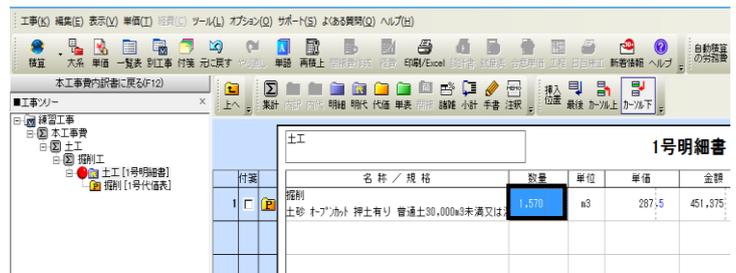
代価表が作成されます。



## 6. 数量を入力する

「第1号明細書」画面に戻り、「数量」欄にカーソルが移動します。

キーボードから「1570」と入力します。数量（1570）×単価の値が「金額」欄に自動集計されます。

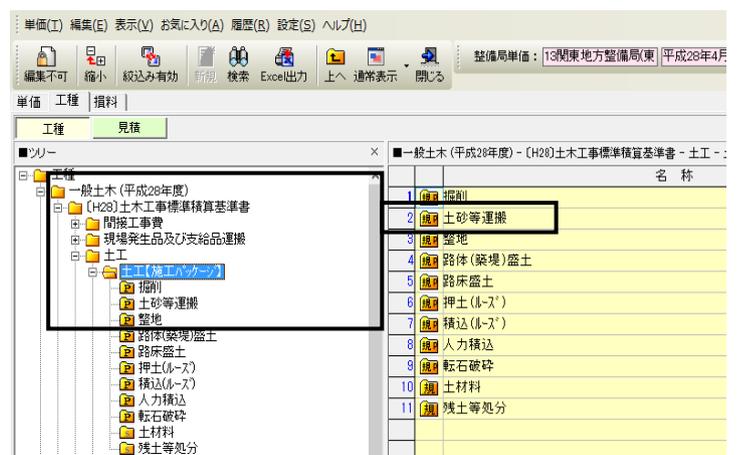


## 7. 「土砂等運搬」の自動積算

「工種」画面では左側に表示されているツリーの「土工」→「土砂等運搬」をクリックします。

「工種」画面右側の「名称」欄にて「新規」をダブルクリックします。

自動積算が開始されます。



## 8. 積込機種の選択

積算条件の選択を行い[確定]をクリックします。



## 9. 代価表を確定する

画面左側に「選択内容」が表示されます。この条件を用いて代価表を作成します。

選択内容を確認し、選択した条件が正しいければ、「質問内容」最下行の「確定」または、画面上部の をクリックします。



## 10. 数量を入力する

「本工事費内訳書」画面に戻り、「数量」欄にカーソルが移動します。キーボードから「100」と入力します。数量(100)×単価の値が「金額」欄に自動集計されます。

「土砂等運搬」の代価表作成はこれで完了しました。

名称 / 規格	数量	単位	単価	金額
掘削	1,570	m3	287.5	451,375
土砂 オープンカット 押土有り 普通土30,000m3未満又は普通土砂等運搬	100	m3	381.2	38,120
標準 ハック丸山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				

# 積算

## 行（表）を複写する

行（表）を複写する手順をご説明します。

ここでは、当工事で作成した「土砂等運搬」の代価表を複写してみましょう。

### 1. 複写したい行を選択する

複写したい行の「No」欄をクリックし、選択します。

選択した行が反転表示されます。

ここでは2行目の「No」欄をクリックします。



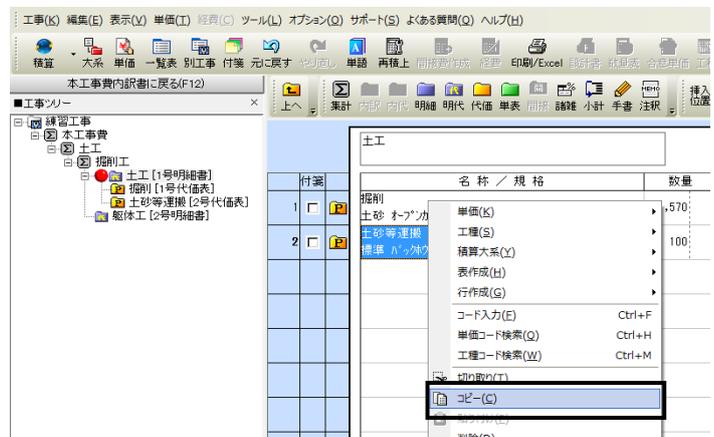
複数行を一度に選択する場合は、選択したい行の「No」欄を複数クリックします。

再度、「No」欄をクリックすると、選択を解除することができます。

付箋	名称 / 規格	数量	単位	単価
1	バックホウ掘削積込 山積0.80m3 地山 粘質土・砂質土・粘性土 障害物	1,570	m3	180.5
2	機械土工(超ロングアールBH)掘削積込 山積0.4m3	3,140	m3	389.6
3	トラック運搬10t 積込:BH山積0.8m3 片道20km DID無 土砂	1,570	m3	2,001

### 2. 行を複写する

右クリック [コピー] をクリックします。



### 3. 貼り付ける

右クリック [貼り付け] をクリックします。

表の中にコピーされます。

付箋	名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	備考
1	掘削 土砂 オープン 押土有り 普通土30,000m3未満又は流	1,570	m3	287.5	451,375	1号代価表
2	土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石	100	m3	381.2	38,120	2号代価表
3	土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊・玉石	100	m3	381.2	38,120	2号代価表

貼り付けた「土砂等運搬」の行の「摘要」欄は、青い文字で号番号が表示されています。  
これは同じ表が、この工事内に複数あることを示しています。

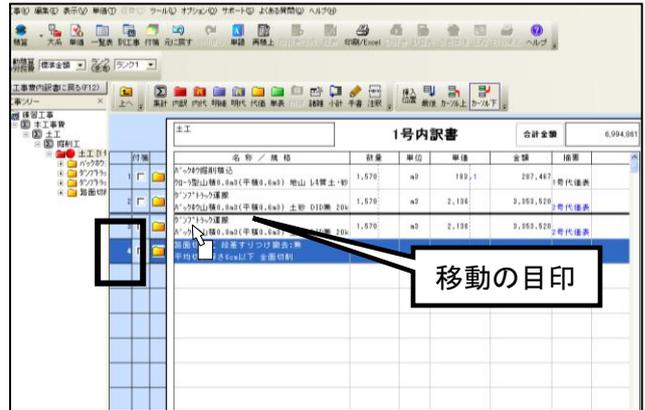
## ● 行の移動

移動したい行の「No」欄をクリックし、マウスのボタンをはなさずに移動先までドラッグします。

マウスのボタンをクリックしたまま移動すると、マウスカーソルが  に変わります。

移動の目印となる横線が表示されますので、移動先でマウスのボタンをはなして下さい。

対象行が指定の位置に移動します。



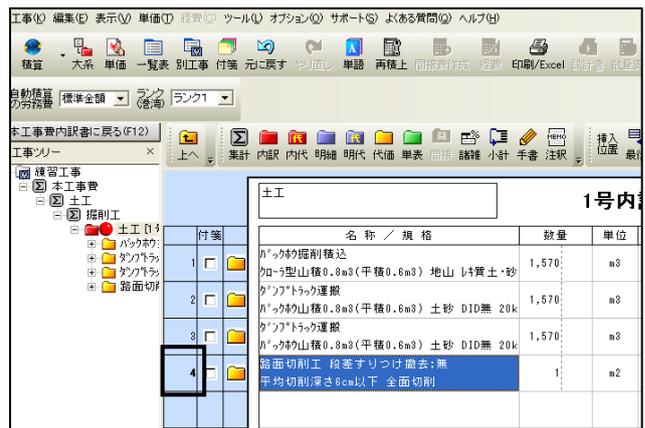
## ● 行の削除

削除したい行の「No」欄をクリックし選択します。選択した行が反転表示されます。

右クリック - [削除] をクリックします。

削除確認のメッセージが表示され、よろしければ [はい] をクリックして下さい。

選択した行が削除されます。



## ● 複数行を一度に削除する場合。

削除したい行の「No」欄を複数クリックします。  
(選択した行がすべて反転表示されます。)

## ● 行の選択を解除したい場合。

選択を取り消したい行の「No」欄を再度クリックして下さい。  
(選択されていた行の反転表示が解除され通常の表示に戻ります。)



# 積算

## 積算条件を変更する（再実行）

自動積算で作成済みの代価表の選択条件を変更することを「再実行」と言います。

### 1. [再実行] をクリックする

「第1号明細書」画面にて、「土砂等運搬」の左側の  をダブルクリックして表内に入り、  
 をクリックします。

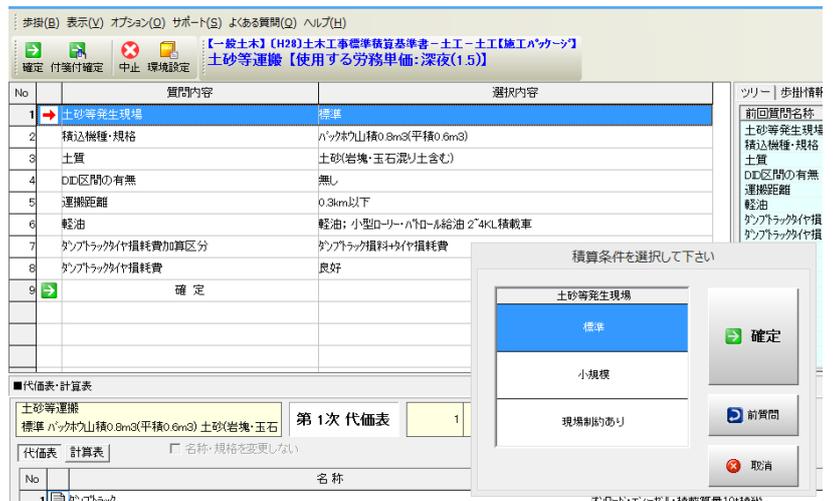


### 2. 選択条件を変更する

「自動積算」の画面が開きます。

変更したい条件を画面左の質問内容でクリックします。

条件の変更後、「確定」をクリックすると、条件を変更した土砂等運搬の代価表が作成されます。



## 積算

(手動で作成)

## 「躯体工」第2号明細代価表を作成する

次に、ここでは当工事に「躯体工」を作成します。

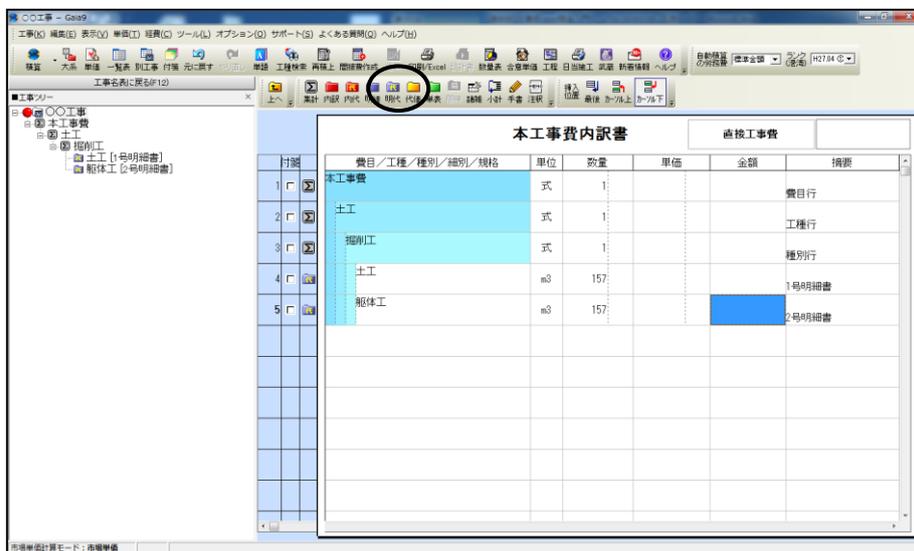
### 1. 「第2号明細代価表」を作成する

「本工事費内訳書」が表示されていることを確認し、ツールバーの  をクリックします。

画面に「明細代価表」が一行追加されます。

名称欄のカーソルが点滅し、文字入力ができる状態になります。

「躯体工」と入力し [Enter] キーを押して確定します。



5行目の  をダブルクリックします。

「第2号明細代価表」画面が開きます。

## 積算

### 自動積算をする（検索）

ここでは、検索機能を利用してみましょう。

該当する工種および単価を検索します。  
工種（単価）名称の一部を入力して検索することができます。

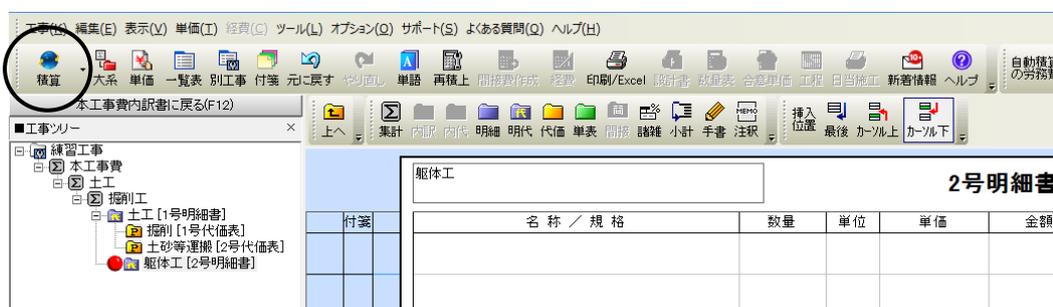
#### 1. 「積算」をクリックする

「第2号明細書」画面にて、ツールバーの



をクリックします。

「工種」画面が表示されます。



#### 2. 検索画面を表示させる

ツールバーの



をクリックします。

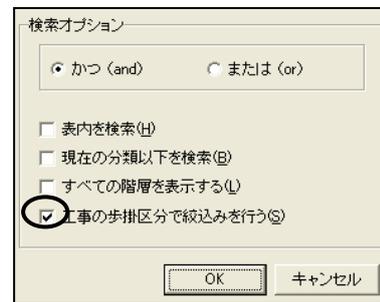
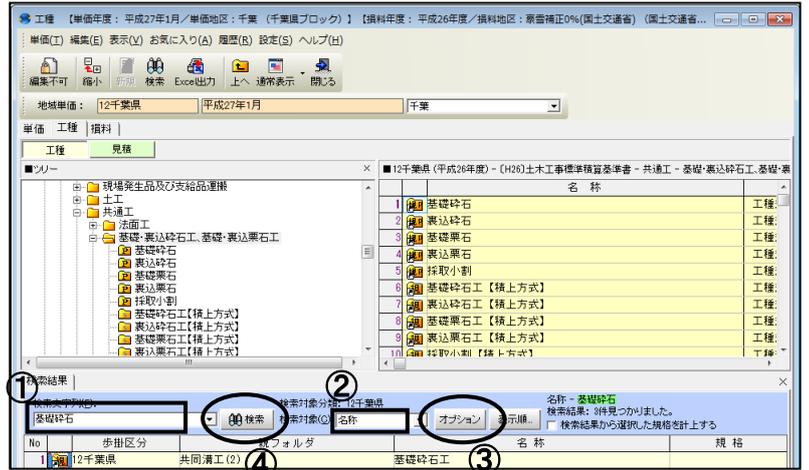
「工種」画面下部に「検索条件」を設定する画面が表示されます。



### 3. 検索を行う

「基礎砕石工」という工種を探してみます。

- ① 検索データを入力します。  
ここでは例として「基礎砕石」と入力します。
- ② 次に検索対象を選択します。  
ここでは、例として「名称」を選択して下さい。
- ③ 次に「オプション」をクリックします。  
「工事の歩掛区分で絞込みを行う」にチェックを入れると検索結果が絞りやすくなります。
- ④ よろしければ「検索」をクリックします。

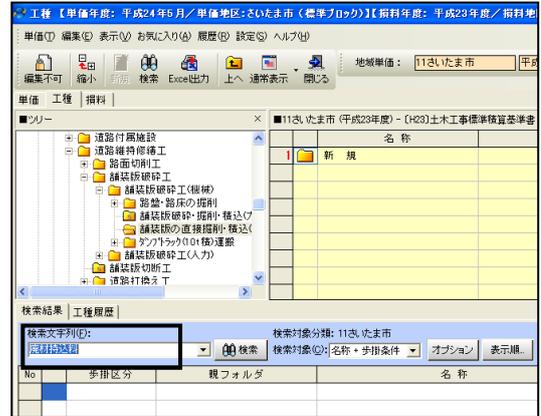


検索結果より、該当する工種をダブルクリックして積算を行います。

注) 検索が出来なかった場合は、キーワードを変更し再検索を行ってください。  
文字を単語で区切り、スペースを空けて検索すると、ヒットしやすいです。

例: 「基礎砕石」 → 「基礎 砕石」

検索結果に該当の工種が表示されなかった場合は「オプション」をクリックし「工事の歩掛区分で絞込みを行う」のチェックを外し、再度全ての省庁より歩掛検索をします。

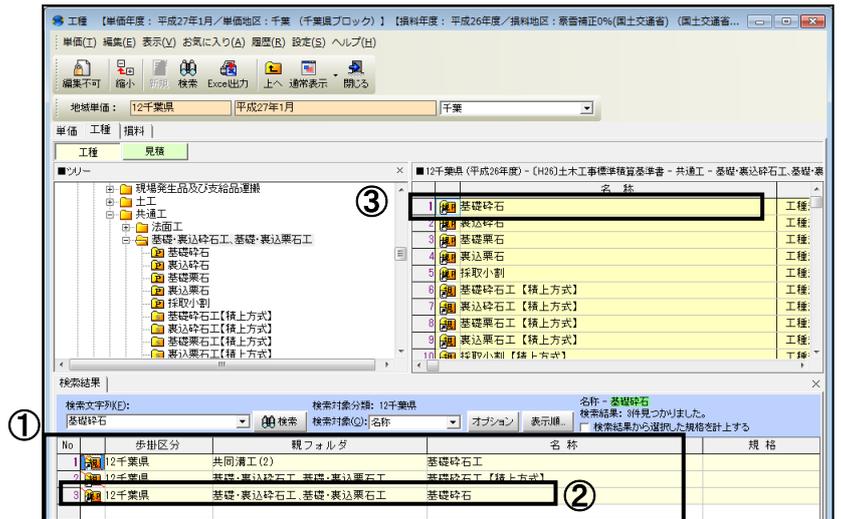


## 4. 検索結果が表示されます

① 「工種」画面下部に検索結果が表示されます。

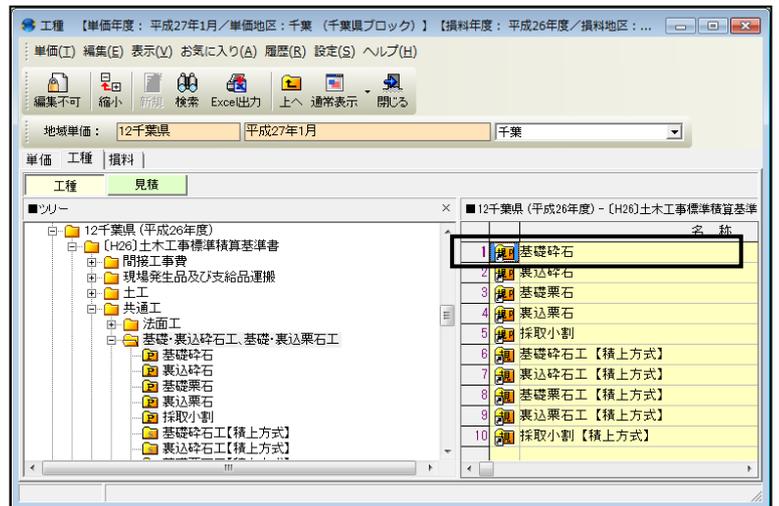
② 検索結果より該当する工種のアイコンをダブルクリックします。

③ 選択した細別（工種または種別の場合もあります）へカーソルが移動します。



## 5. 細別を選択する

「工種」画面右側の「名称」欄にて「基礎砕石」をダブルクリックします。



## 6. 「基礎砕石工」の自動積算を実行する

「工種」画面右側の「名称」欄にて「新規」をダブルクリックします。

自動積算が開始されます。



## 7. 積算条件を選択する

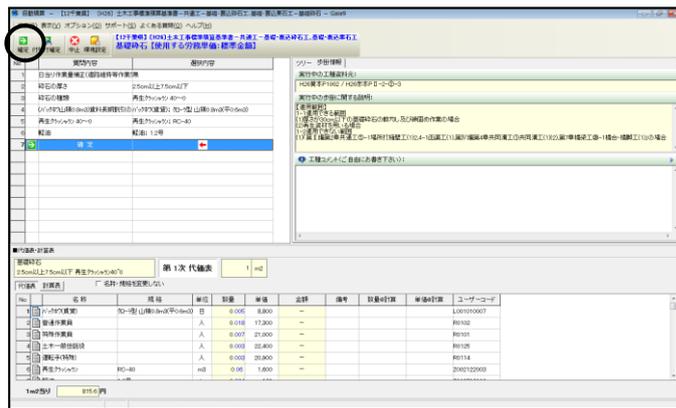
積算条件の選択を行い[確定]をクリックします。

## 8. 代価表を作成する

画面左側に「選択内容」が表示されます。この条件を用いて代価表を作成します。

選択内容を確認し、選択した条件が正しいければ、「質問内容」最下りの「確定」または、画面上部の  をクリックします。

代価表が作成されます。



## 9. 数量を入力する

「第2内訳書」画面に戻り、「数量」欄にカーソルが移動します。

キーボードから「157」と入力します。数量（157）×単価の値が「金額」欄に自動集計されます。

「上へ」をクリックし、「第2号内訳書」へ戻ります。



直接工事費の積上げが終わりましたら、経費計算を行います。「②間接費～経費計算」にお進みください。